

# レンジャー体験をして 神奈川地本カレッジ防衛モニター 植田 尚

平成26年11月15日、私は神奈川県横須賀市にある武山駐屯地において、神奈川地方協力本部主催のレンジャー体験をした。

当日は、神奈川地方協力本部に集合後、迷彩服に着替えて武山駐屯地に向かった。横須賀港に停泊している護衛艦を横目に眺めつつ、バスで武山駐屯地に到着すると、内部のレンジャー塔と呼ばれる施設へ誘導された。

五階建てほどの高さで、鉄骨と鉄板が組み合わさり建てられたレンジャー塔は、3階部分と5階部分に、ヘリの内部を模してロープを繋ぐための基盤が設置されており、今回は主にそこからロープを垂らして壁を駆け下りる体験（垂直降下）をした。

午前中は全員でロープ降下のための準備。指導をされたのは、レンジャーの教官をされていた神奈川地本の折原教官。警察などにも指導をされたことがあるという自衛官の方で、20名ほどいた参加者に降下の手順やチェック項目などの説明を順序良く、また解りやすく受けた。

お昼は自衛隊の携帯食。内容は白米とチャーハン、副食という構成だった。いくつかパターンがあるようだったが、どれも白米とご飯物が入っているとのこと、自衛隊は米が大好きなのだと感じた。ちなみに味は非常に美味しかった。

午後は本格的な降下体験。バンジージャンプと同じで、勢い良く降りる人もいればなかなか思い切つて降りることができなくて自分の学校の校歌を歌う方がいるなど色々なことがあったが、参加者全員が安心して楽しんでいただいています。

私自身は怖さと興味深さが半々の気持ちで臨んで、怖さを気合で押さえつけて一気に降下した。非常に楽しかったが、後で、降下直前に撮って頂いた自分の写真を見たところ顔がひきつっていたのでやはり怖かったのだと思う。

高いところから降りるといふ本能的な怖さはあったが、安全管理という点では徹底されていたので心配はせずとても楽しむことが出来た。

この企画は今回が初めてということだったが、または是非参加したいイベントだ。



# レンジャー体験 神奈川地本カレッジ防衛モニター 野原 慧

11月15日の朝、自衛隊神奈川地方協力本部に到着。レンジャー体験をするため張りきって来た。受付を済ませ2階へ上がった。部屋に入るのと長机の上の名前が書いてある紙とライナーと迷彩服が置いてあった。迷彩服は襟をベルクロ（マジックテープ）で立てることができ、袖口をベルクロで留めることができる3型であった。迷彩服に着替えて下のロビーに行くのと、そこにはすでに10人ほど集まっていた全員がやはり迷彩服を着ていた。カレッジ防衛モニターは私の他に1人、知っている人がいて安心した。私は、何処かサバイバルゲームの定例会に参加していたが、全員が同じ柄の迷彩服を着ている光景を今まで見たことなかった。少し心躍っていた。最初からテンションが上がり、みんなを乗せたバスは武山駐屯地へと走り出した。

目的地に到着後、バスを降りてレンジャー塔の前に横二列に整列し、今回体験するレンジャー体験の一つである垂直降下についての説明を聞いた。その後、子綱と呼ばれるロープで座席を作り、次に地上で垂直降下に見立てた練習を指図された。そして、いよいよレンジャー塔で実際にやることになった。降りる場所は地上から約12メートルの高さだったためそれほど恐怖は感じなかったが、降下するためのロープの摩擦が強かったため、降下準備を行うための移動がやり難かった。でも、降下することができた。

昼食は、陸上自衛隊で実際に食べられている戦闘糧食。いわゆるメニューはあったようで、自分の昼食は、煮込みハンバーグと白米、ドライカレーが同封されていて、とても美味であった。少し量が多いような気がしたが、お腹が空いていたので完食。

ただ、白米とドライカレーでは炭水化物が多いなと思った。午後の垂直降下は、壁を降りる練習を繰り返した。その後、一時休憩を挟み、希望者が5名、レンジャー塔の一番上から降下するリペリングのじゃんけんに参加。2番目に降下することになった。いよいよレンジャー塔の階段を上がり一番上に着く。そこは自分が思っていたより高かったため、少し足が竦んだ。しかし、ここまで来たのだからやらなければ損だと思い、気持ちを奮い立たせた。そして自分の番が来た。落ち着いて今日教わったこと通りに準備し、降下する為に移動。この時スキッドに模したものに足を掛けるのだが難しく時間がかかったが、教官が背中を支え安全に足を掛けることができた。ついにスキッドを足で蹴って降下。緊張で少し体が強張ったがなんとか無事に着地できた。そしてリペリング体験が終了。武山駐屯地後にした。今回のイベント参加の感想は、人生の中で実際にレンジャーの教官にリペリングの方法を指図していただいて自分がリペリングをやる」ということは滅多にないと思うので、またこのようにしたいと願った。



# はじめての「自衛隊音楽まつり」 カレッジ防衛モニター 片岡 初実

11月15日、私は自衛隊音楽まつりのチケットを手に入れた。東京都千代田区の日本武道館へ行った。自衛隊音楽まつりには昨年一般応募で外れたため初めての参加。私は中学高校で音楽をやっており音楽が大好きなので、当日を心待ちにしていた。

一般応募で当選した人たちは毎年入場前に長蛇の列をつくっている。と聞いたが、私は招待チケットでありそれほど多くの人はいないと予想していた。しかしそれは間違いだった。一般で行ったことがないので比較はできないが、招待で入るうとしていた人たちが招待をつくらなかった。もう少し早く家を出ればよかったと後悔した。荷物検査を経て案内されたのは二階席であった。事前に調べた情報によると二階席では会場全体を見渡すことができパフォーマンスがよく見られるとのことだったので、会場全体をしっかりとこの目に焼き付けようと思った。

開演と同時に会場の照明はほぼ消され、会場全体が荘厳な雰囲気になった。陸海空自衛隊の中央及び各方面の音楽隊だけでなく防衛大学校儀仗隊や自衛太鼓、アメリカ、フィリピン、オーストラリアからのゲストバンドを招いての演奏であった。どの部隊も一糸乱れぬ動きであり、文字やその部隊を象徴するものを描いた状態を保ち、歩きながら演奏していることに感動した。会場のモニターや床に映し出された映像も演奏している部隊に関連するものであり、それぞれの部隊をより引き立てていた。ゲスト国の部隊が自国の国旗とともに日章旗を掲げて演奏をしたり、国を越えて全部隊合同演奏をするなど、国同士のつながりを強く意識することもできた。

あまりの感動に、書きたいことが書ききれない、それほどよいものだった。今回、心から楽しみにしていた音楽まつりだが期待を裏切ることがない一生の思い出となった。